看護職の再就職を応援する情報誌

やっぱり看護が好き

vol. 74
2021. 9.1

Interview

いつまでもプラチナのように輝く現役ナースとして活躍してほしい。

東京都が始める、新たな就業継続支援事業

東京都福祉保健局医療政策部医療人材課看護担当　篠崎由紀子さん、山本美絵さん、服部紗朋さん

プラチナナース就業継続支援事業

ナースバンク通信

2020年度の看護職の就活状況

COVID-19特化求人の状況

未来のナースを応援します！

一日看護体験学習

私の復職ストーリー 第6回

川野皮膚科医院 清水チコさん

アウトリーチ型定着促進支援事業

シリーズ 仕事力をつける！

新人看護職員3日間研修

東京都ナースプラザ

Interview

いつまでもプラチナのように輝く現役ナースとして活躍してほしい。
東京都が始める、新たな就業継続支援事業

東京都福祉保健局医療政策部
医療人材課看護担当

東京都は2021年4月から、「プラチナナース(定年退職前後の看護職)就業継続支援事業」を始めました。プラチナナースに対しては働き方を考えるセミナーや職場体験会・就職相談会を、雇用する施設側に対しては事業説明会・施設管理者セミナーを実施しています。今回は東京都福祉保健局の担当のお三方に、この事業についてメッセージをいただきました。

課長
篠崎由紀子さん

主任
山本美絵さん

服部紗朋さん

新しい人を受け入れるホスピタリティを

—この事業の目的を教えてください。

篠崎　少子高齢化が進む中、現状の施策では約2万～3万人の看護職員不足が予測されています。

　そのため定年退職前後の看護職員が、定年後もそのキャリアを継続し、さまざまな職場で能力を発揮することができるよう、退職前からその後のライフプランを考え、多様な職場を知る機会を提供することにより、経験豊富な看護職員の潜在化を防止するとともに、定着・再就業の促進を図ることが目的です。

—施設管理者へのメッセージをお願いします。

山本　プラチナナースは専門職としての熟練した技術と対人スキルを持ち、人生経験による包容力もあります。こうした人生の先輩たちから、「学ばせてもらうことがたくさんある」と思ってもらえるとよいですね。ぜひ柔軟な雇用をお願いします。

服部　定年後の再就職では、新しい施設でプラチナナース自身ができる仕事について、すぐに把握できないこともあります。施設管理者の方も一緒に考えフォローしながら、受け入れていただければと思います。

篠崎　施設側のニーズを明確に打ち出すことも必要です。そして施設管理者だけでなく、職員全員で新しい人を受け入れていこうというホスピタリティ、お互いを認め合う職場風土が大切です。

定年は新しいことを始めるチャンス

—プラチナナースへのメッセージを。

服部　看護職としてのキャリアデザインをするには、まず自分の強みを知り、そこを生かして、病院以外の施設も視野に入れ、看護職として活躍できる場を見つけてほしいです。

山本　50代になったら今後の自分のキャリアをデザインするために、ぜひセミナーに参加してください。また、これまでの経験をポートフォリオにしておくと自分の強みが可視化でき、職場を選択する時に自分をアピールするツールになります。

篠崎　体力的にも、現役の時のように働くことは難しくなってきますが、定年を新しいことを始める一つのチャンスととらえると、豊かな未来が見えてくるのではないでしょうか。このプラチナナースセミナーをきっかけに、人生のデザインの仕方を学び、生涯現役としてのご活躍を期待しております。

プラチナナース就業継続支援事業

第1回 事業説明会・施設管理者セミナー

プラチナナースを有効なマンパワーとして活用する プラチナナースの価値ある看護を活かす職場デザイン

東京都の2021年度新規事業として、「プラチナナース就業継続支援事業」が始まりました。その第一弾として5月14日に東京都ナースプラザにおいて、雇用側の施設管理者に向けたセミナーが会場参加とオンラインによるハイブリッド形式で、開催されました。その様子を紹介します。

1

2

第1回の施設管理者セミナーの参加者は、会場が15名、オンラインが61名の合計76名でした。まずナースプラザ佐藤浩子所長の「今日の話を聞いて、プラチナナースの活用をぜひ考えてほしい」というあいさつから始まりました(写真1)次に東京都福祉保健局の篠崎由紀子課長から主な事業内容についての説明があり、「プラチナナースの就業促進には、施設の協力が必要です」と呼びかけました(写真2)。

セミナーは、NPO法人看護職キャリアサポート代表の濱田安岐子さんを講師に迎え、「定年退職前後の看護職を雇用する場合のデメリット」、「デメリットをメリットに変えるにはどうしたらいいか」をワークシートを使って考え、参加者に発表してもらいました。また、採用面接の具体的な方法についても講演され、実践に富む内容でした。途中、オンラインで参加されていた施設から、現役で働いている80代の看護師が飛び入りでオンライン画面に登場する一幕もあり、会場をおおいに沸かせました。

●来年度の施設管理者セミナーの予定は東京都ナースプラザホームページをご覧ください。

第1回 プラチナナースセミナー

充実した第二の人生をデザインする プラチナナースとして活躍するためのライフキャリアデザイン

6月8日に東京都ナースプラザにおいて、会場とオンラインによるハイブリッド形式で開催された第1回「プラチナナースセミナー」の様子と、ナースセミナーに参加した方の感想を紹介します。

第1回のナースセミナーの参加者は、会場が20名、オンラインが51名の合計71名でした。セミナー講師は、国家資格キャリアコンサルタント、ファイナンシャルプランナーである大貫成美さんです。「キャリアデザインとは」から始まり、年金の話も含めた「人生を長く楽しむためのマネープラン」や「セカンドキャリアも看護職を続けるメリット」などの講演のほか、気づきのチェックシートを使った「自己理解」や「80歳の自分からの手紙を書く」というワークなど盛りだくさんで、150分という時間も短く感じたほど、充実した内容でした。

セミナー参加者の感想

NTさん(就業中、病院勤務、50代)
自分の定年後のイメージが真っ暗で不安だったこと、プラチナナースを受け入れる側として何かヒントがないかと思い参加しました。いろいろな学びがあり、将来を明るく過ごすために今を頑張ろうと思いました。また自己理解、特徴把握シートをやってみて、受け入れる側としての注意点がわかりました。

MOさん(就業中、病院勤務、40代)
プラチナナースという言葉を初めて知りました。定年が60歳になり、あと10年しかなく不安でいっぱいでセミナーに参加しました。65歳を過ぎても働ける職場を今のうちから探したいと思う一方で、まだ49歳なので、自施設でプラチナナースを受け入れ、活用できる職場を、自分たちの世代で作っていこうと思います。

KTさん(離職中、50代)
年金のことなど、全く意識していなかった話もあり、参考になりました。また、定年後の具体的な思考の方法などがわかり、とても前向きになれ、元気になれたように思います。

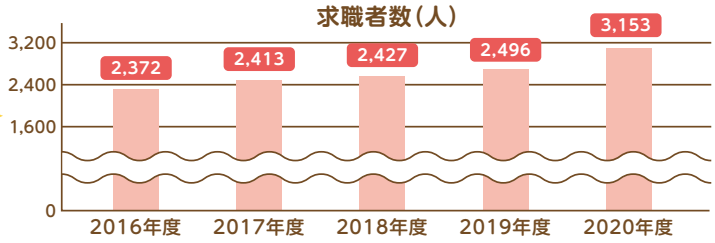
YWさん(離職中、50代)
看護に限らず、ライフプランを見直す良い機会になりました。この先必ず訪れる状況を知った上で、どのように人生プランを立てていくかが理解でき、とてもよかったと思います。

今後の予定

第3回	第4回	
11月2日(火)	1月15日(土)(2022年)	いずれも時間は13:30～16:30。第3回は第1回と同じ内容。第4回はセミナー講師が変わり、プラチナナースの体験談も入る予定です。

2020年度の看護職の就活状況

eナースセンター
求職者数
（月平均）



年々、求職者は微増し、昨年度はCOVID-19の影響もあり大幅に増加しました。
多くの看護職が施設見学やeナースセンターのお問合せ機能を活用、また就職相談会等に参加して求人情報を収集しています。
就職活動が初めての方、就職活動の進め方がわからない方はバンク相談をご利用ください。
相談員には経験豊かな看護職が対応しています。

ずーっと看護師！

看護職の就業者が2,000人※を超え、昨年度より増加しています。55歳以上のプラチナ世代は看護職で働き続けるのに悩み多きお年頃。プラチナ世代の就業先にもご注目ください。
※ナースバンクで就業を把握できた人数

■年齢層別の就業先施設（上位10形態）

	施設形態	55～59歳（人）
1	救護	134
2	病院	110
3	診療所	97
4	会社・事業所	58
5	訪問看護ステーション	44
6	デイサービス	43
7	学校・養成所	40
8	特養	37
9	その他社会福祉施設	31
10	市町村・保健センター	26

	施設形態	60歳以上（人）
1	デイサービス	94
2	病院	82
3	救護	81
4	診療所	75
5	会社・事業所	63
6	特養	51
7	その他社会福祉施設	36
8	ケアハウス・有料	34
9	市町村・保健センター	29
10	学校・養成所	26

50代ではキャリアを活かした就業先を、60代では今の自分に合った就業先を選択しています。
バンク係ではブランクを乗り越えての就業や転職など、多くの看護職に就業のきっかけづくりをしています。

病院・施設看護職のコミュニケーションイベント

●ふれあいナースバンク（9月、11月、2月の年8回開催）●ミニ就業相談（施設のみオンラインを開始しました）
来所相談、ハローワーク（都内9カ所）の出張相談も継続して実施しています。
＊詳細は東京都ナースプラザ　ホームページをご覧ください。

東京都ナースプラザ
ホームページ▼

COVID-19特化求人の状況

2020年度から開始したCOVID-19支援者登録数は、右肩上がりに増加しています。求人ではワクチン接種が開始された4月以降の看護師求人の需要が急増しています。高齢者へのワクチン接種が始まった6月の求人数や応募者は、さらに大きく増えました。皆様の力強いご支援に感謝し、引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

COVID-19特化求人への人材支援（※：2021年6月末日に把握できた数）

	2020年度合計	2021年4月	5月	6月
求人件数	44	6	5	56
募集人数	471	51	21	995
紹介人数	507	43	74	694※
採用把握数	207	7	5	121※

未来のナースを応援します！

一日看護体験学習

2020年度の「一日看護体験学習」は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止になりました。
そこで、2021年度は開催に向けて参加者が安心して参加でき、施設が安全に開催できるための3つの取り組みをしました。

取り組み 1 受け入れ施設から安全に開催するためのご意見を募って「健康状態観察表※」を作成し、参加者には体験日前2週間分の健康チェック結果の提出にご協力いただきました。

取り組み 2 希望施設には、参加者にPCR検査陰性結果の提出をお願いしました。

取り組み 3 初の試みであるオンラインでの「一日看護体験学習」を開催しました。

未来のナースを育てるためにご協力いただいた施設の皆様、本当にありがとうございました。

※健康状態観察表

【一日看護体験学習】　施設提出用

新型コロナウイルス感染症予防対策について
～参加前の健康チェックにご協力ください～

一日看護体験学習に参加していただくにあたり、新型コロナウイルス感染症対策として健康チェックをお願いしています。下記の質問にお答えください。
当日、参加施設の担当者にお渡しください

健康状態観察表

氏名
住所
電話番号
（日中にご連絡できる電話番号をご記入ください）

参加日から遡り、2週間の体調管理を表に記入してください。
※検温期間が1週間や日に2回の検温の施設がございます。参加施設の指示に従ってください。
（日に2回の検温は、体温欄の上下二段で記入してください。）

日付	体温	下記1～9について該当に○　有の場合は番号を記入	日付	体温	下記1～9について該当に○　有の場合は番号を記入
月　日（　）	℃	無 有（　　）	月　日（　）	℃	無 有（　　）
月　日（　）	℃	無 有（　　）	月　日（　）	℃	無 有（　　）
月　日（　）	℃	無 有（　　）	月　日（　）	℃	無 有（　　）
月　日（　）	℃	無 有（　　）	月　日（　）	℃	無 有（　　）
月　日（　）	℃	無 有（　　）	月　日（　）	℃	無 有（　　）
月　日（　）	℃	無 有（　　）	月　日（　）	℃	無 有（　　）
月　日（　）	℃	無 有（　　）	月　日（　）	℃	無 有（　　）

1　37.0℃以上の発熱または平熱比1℃超過
2　風邪症状（咳、痰、のどの痛み、鼻水、頭痛）
3　消化器症状（腹痛、下痢、嘔吐）
4　だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
5　嗅覚や味覚の異常
6　体が重く感じる、疲れやすい等
7　新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触
8　同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
9　過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある

・不要不急の外出は控えるようお願いいたします。
・「健康状態観察表」は新型コロナウイルス感染症対策以外には使用いたしません。
・情報の保管期間は取得日から30日間とし、その後、個人が特定されない形で完全に破棄いたします。

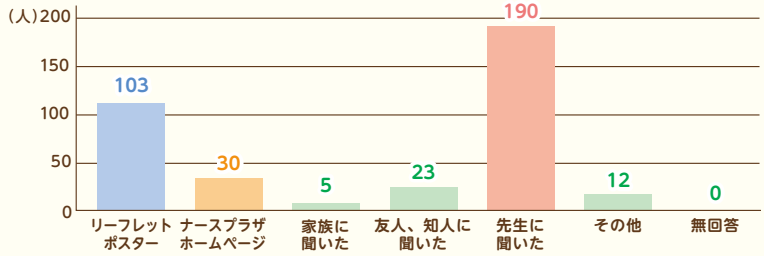
●5月募集広告

●夏期募集広告

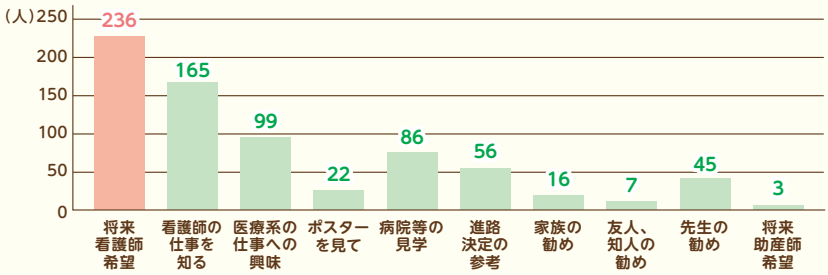
2021年度　一日看護体験学習アンケート（高校3年生対象実施）

実施日：2021年5月24日～5月28日（5日間）　参加人数：281人　アンケート回答数：264人

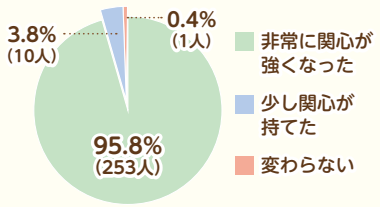
問1 一日看護体験学習についてどのような方法で知りましたか。（複数回答可）



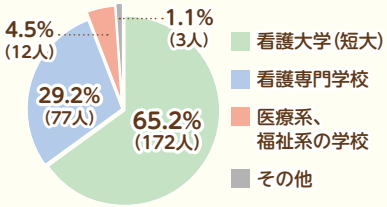
問2 応募の動機をお聞かせください。（複数回答可）



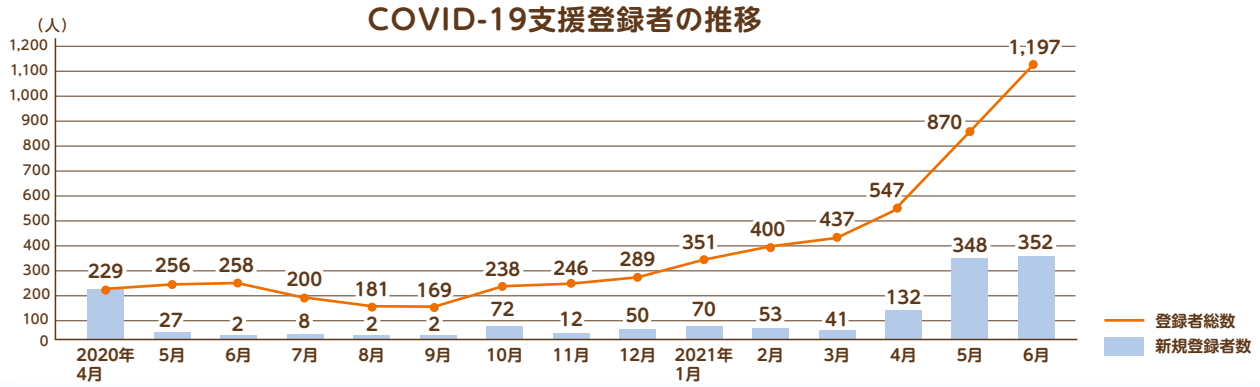
問3 一日看護体験学習に参加して、看護に対する関心は変わりましたか。



問4 現時点で希望する進路をお聞かせください。



COVID-19支援登録者の推移



私の復職ストーリー

第6回

ー研修への勇気ある一歩で、世界が広がるー

川野皮膚科医院　清水チコ さん

大学病院で6年3カ月、特養で4年勤務後、出産を機に退職。13年間専業主婦となり、婦人科クリニックでの復職を経て、復職支援研修後に川野皮膚科医院に入職。

復職支援研修で皮膚科という新しい領域に挑戦したくなりました

13年間専業主婦をしていて、子どもの成長を期に婦人科クリニックでパートを始めました。しかし週に1回程度しか仕事がなく、もっと働きたいと思い、別の職場を探していた時に復職支援研修を見つけました。

これまで経験のある領域の中で就職先を探していたのですが、復職支援研修で視野が広がりました。研修での病棟実習では入院患者さんの多くが皮膚トラブルを抱えているのが印象に残りました。もう少し子どもとの時間を持ちたかった私は、病棟勤務を選択肢から外したのですが、この時期に勉強したいことを考え、現在のクリニックにつながりました。

このクリニックは、赤ちゃんからご高齢の方まで、患者さんの年齢層も幅広く、自分の子育てや家族の介護の経験が役立ち、専業主婦をしていたことも無駄ではなかったと思います。

こちらは美容皮膚科もありますが、現在は一般皮膚科の患者さんを担当しています。皮膚科の疾患は他の病気とつながっていることも多く、奥が深いと感じています。今は週3日の半日勤務ですが、毎回の仕事がとても勉強になります。もっといろいろなことを任せてもらえるよう一人前になるための経験を積み重ねていきたいです。

離職者対象の復職支援研修は『病院体験コース』と『施設体験コース』にリニューアルしました!

種類	研修施設の種類	研修コース	主な内容
病院体験コース	都内の病院	・3日コース ・5日コース ・5日助産コース ・1日(随時)コース	・講義、施設見学、演習、病棟実習、就業相談(助産コースは産科病棟実習) ・講義、施設見学、看護体験
施設体験コース	・訪問看護ステーション ・診療所 ・介護老人保健施設	・3日コース ・1日(随時)コース	・講義、施設見学、施設体験、就業相談 ・講義、施設見学、施設体験

こんなあなたの職場復帰を応援します

- ブランクが長くて、再就職は無理かも…
- 採血や点滴も自信ないし…
- 経験が浅いけど、私にできることがあるかしら…

受講資格

- 保健師・助産師・看護師・准看護師のいずれかの資格を有している方
- 離職中で、就職先が決まっていない方
- 都内で就業を希望している方

詳細は、東京都ナースプラザホームページをご覧ください。

アウトリーチ型定着促進支援事業

オンライン研修で多くの方が参加しています!

東京都ナースプラザでは、200床未満の病院の看護管理者をサポートし、看護職の就業継続を目的に「アウトリーチ型定着促進支援事業」を実施しています。就業協力員が支援病院を月1回訪問し、看護組織の理念や課題に合わせ、看護管理者のめざす看護への取り組みや職場環境づくりを支援していきます。また、事業の一環として、支援病院での研修を開催しています。職場にいて気軽にオンライン研修が受けられる環境を提供しています。職場の身近な課題や問題に対して、前向きなヒントとなる研修を支援しています。

2020年度の「アウトリーチ研修」の実績をご紹介します。
働きやすい職場環境づくりや看護の質向上等、病院で働き続けられ、自己成長ができるような内容の研修を開催しました。

町田市	【テーマ】認知症のある高齢者への身体拘束低減の取り組み
西東京市	【テーマ】職場においてどうすれば人は成長するのか
三鷹市	【テーマ】医療現場に求められるアサーティブコミュニケーション

＼ 西東京市 保谷厚生病院からの報告 ／

受講した病院の方々からのメッセージをご紹介します。

主任育成の締めくくりとして、オンラインによる講演会を実施

西東京市にある保谷厚生病院は、地域包括ケア病床と急性期一般病床の計178床をもつ、地域に根差した病院です。二嶋好枝看護部長は、アウトリーチ研修について、「2020年6月から翌年3月まで、主任へのリフレクション、コーチングを繰り返し行ってきました。その締めくくりとして外部講師による講演会を行い、オンラインで地域にも発信しました。参加した近隣病院の看護管理者の方々からも、たくさんの反響をいただき、研修の支援を受けて本当によかったと思います」と感想を述べています。この講演会に参加した同院の看護師の声を紹介します。

講演テーマ ｜ 「職場においてどうすれば人は成長するのか」(栗林裕也講師)

野口美穂さん(教育担当テクニカルナース)
教育担当として看護職員の教育をしていく上で、一人ひとりの理解度のアウトプットばかりに向いていた意識を、人を理解するところからに変えてみようと思いました。また、日々の忙しさに流されがちでしたが、この研修で一度立ち止まり、人の育成について改めて考えることができました。

佐藤美樹さん(副看護部長)
初めてオンライン研修を企画・実施しましたが、皆さんの協力もありスムーズに行うことができました。この研修を受けたことで相手に対しても自分についても、「どういうことなのか」を考え理解することが必要だと気づき、この研修で学んだことの振り返りを繰り返し考えながら実践しています。

相原貴子さん(褥瘡担当テクニカルナース)
物事への感情は、受け取り方で大きく変わってくるのだと理解できました。教育的立場にあると、どうしても「変えよう」という意識が働いてしまいますが、人は自分の思うようには変わらないので、自らが受け止め方を変えて対応していくように心がけるようになりました。

田中清美さん(医療安全担当テクニカルナース)
「人は気づいたときに、人は他人から理解されたときに、変化が芽生える」とありました。医療安全を担当しており、スタッフを指導することが多いのですが、これからは「今まではこうだった」「こうでなければならない」など古い価値観を捨て、業務改善や改革に取り組んでいきたいと思います。

— シリーズ —

仕事力をつける！

新人向け研修

新人看護職員3日間研修 ～急変時の対応（3日目午後）～（2021年5月18～21日開催）

東京都ナースプラザでは、再就業を目指す看護職の就業促進や看護職の資質向上定着促進のために、さまざまな研修を行っています。今回は、その中から「新人看護職員3日間研修」の3日目の研修を紹介します。午前中は「フィジカルアセスメント」について学び、午後からは「急変時の対応」の演習です。講師から、まず患者急変とはどのような状態をいうのか、SBARを使った報告の仕方、心停止の即時認識と対応要請、胸骨圧迫の仕方、AEDの使い方などを座学で学びました。

後半では3つのグループに分かれ、人形を使ったデモンストレーションが行われました。各グループには指導の先生がつき、心停止の即時認識から胸骨圧迫、AEDの操作、バッグバルブマスクの操作を、一人ずつ行いました（写真1～3）。

1 「胸骨の下半分のところを、1分間に100～120のテンポで圧迫します」という先生の指示の通りに胸骨圧迫を行います。

2 AEDの使用手順に従い、人形の胸にAEDのパッドを装着します。次にAEDの解析により、患者から離れるまでを実践します。

3 バッグバルブマスクを使い、マスクの当て方の指導を受けた後、心肺蘇生時の換気を実際に体験します。

表紙の写真

紅葉を背にした豪徳寺の招き猫

世田谷区にある豪徳寺には招き猫発祥の地という説があります。招福殿には、大小さまざまな招き猫がずらりと並んでいます。

つれづれ・・・・

東京都ナースプラザでは事業の見直しが行われ、2021年度からスタートを切りました。“今年こそ看護職確保事業に邁進するぞ！”と思ったのに、やっぱりコロナ禍に足を引っ張られています。でも、コロナ禍における事業展開も2年目となると少し腰が据わるのか、スタッフそれぞれが知恵を絞って取り組んでいるのがうれしいです。ワクチンが多くの人に行き渡り、安心できる社会生活が戻ってほしいと願いつつ、へこたれず前を向いていこうと思うのです。

佐藤　浩子

ナースバンク立川 TEL 042-529-7077

ナースバンク東京 東京都看護協会会館2階

所在地：新宿区西新宿 4-2-19

●都営大江戸線 西新宿五丁目駅 出口A1・A2から徒歩４分
●東京メトロ丸ノ内線 西新宿駅 ２番出口から徒歩10分

ナースバンク立川

所在地：立川市曙町 1-21-1いちご立川ビル６階

●JR中央線・青梅線・南武線 立川駅北口から徒歩７分
●多摩都市モノレール線 立川北駅から徒歩７分

東京都ナースプラザ　検索

ホームページ　https://www.np-tokyo.jp/
Eメール　np@np-tokyo.jp

ナースバンク東京 TEL 03-5309-2065

東京都

やっぱり看護が好き Vol.74（3月・9月の年２回発行）
発行：東京都ナースプラザ　設置主体／東京都　運営受託者／公益社団法人東京都看護協会
所在地 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-2-19 東京都看護協会会館２階・５階
TEL 03-5309-2063　FAX 03-5309-2064

2021年９月１日発行
再生紙を使用しています
石油系溶剤を含まないインキを使用しています